

在日米軍 4300人超感染

沖縄6割以上拡大止まらず

全国の在日米軍基地（性者）は11日午後時点での新型コロナウイルスで、4324人に上る。「現存感染者」（陽



縄県内の感染者が占めていることが分かりました。在日米軍司令部公表の7日時点の感染者と比べると、米軍関係者の感染者数は全国で約2倍、沖縄では約4・4倍となり、感染拡大に歯止めがかからなくなっています。松野博一官房長官が12日の会見で明らかにしました。

11日時点の在沖縄米軍関係者の感染者は2692人に達し、大規模なクラスター（感染者集団）が発生したキャンプ・ハンセンが648人と最多。続いて、嘉手納574人、キャンプ瑞慶覧458人、普天間237人、キャンプ・キンザー236人、キャンプ・コートニー109人となっています。

7日時点と比べると、普天間は約15倍、キャンプ・キンザーは約6倍、嘉手納は約4・3倍、キャンプ瑞慶覧は約4・4倍、キャンプ

は約4・4倍、キャンプ・ハンセンは2・3倍に急増しています。沖縄県以外では、11日時点で、山口県の岩国基地が589人、青森県の三沢基地が265人、神奈川県横須賀基地が245人、厚木基地が138人、東京都の横田基地が179人、長崎県の佐世保基地が114人などとなっています。

7日時点と比べると、横田が約2倍、佐世保や厚木が1・8倍、三沢は1・5倍となるなど、いずれも増加傾向が続いています。

米国↓日本は検査なし、

日本↓米国は検査義務づけの異常

昨日付「米兵出国前PCR 日本だけ除外」の記事について

12日付一面に「米兵出
国前PCR 日本だけ除
外」と題する記事を掲載
していますが、記事で紹
介した「しんぶん赤旗」

軍基地、シアトルやワシ
ントン(米本土)、ディエ
ゴガルシア(英領)など、
博一官房長官の記者会
見)。

日本以外の外国への移動
にさいしては、出発72時
間前のPCR検査を義務
づけていることを明らか
にしています。

この事実と、本紙が入
手した米軍資料が明らか
にした事実をあわせるな
らば、少なくとも昨年12
月4日時点で、次のよう
な事態であったことが明
らかになります。

米本土から日本に対す
る米兵の移動にさいし
て、米軍が出国前PCR
検査を、昨年9月3日か
ら12月25日までの期間、
免除をしていたことは、
すでに日本政府が明らか
にしていたことです(12
月24日の林芳正外相の記

——米本土から日本に
対する米軍の移動にさい
して、出国前PCR検査
は行われていなかった。
日本国内の米軍基地間の
移動——横田基地から嘉
手納・岩国両基地への移

動にさいしても、移動前
のPCR検査は行われて
いなかった。

——逆に、日本から米
本土に戻るさいにはPCR
検査が義務づけられて
いた。

——日本から、韓国の
基地、英領ディエゴガル
シアなど、他国に米兵が
移動するさいにもPCR
検査が義務づけられてい
た。

日本から米本土に戻る
際にも、韓国など外国に
移動するさいにも、PCR
検査を義務づけている
のに、米本土から日本に
来るときだけはPCR検
査が免除される。こうし
た異常な姿が、日本政府
の発表と米軍資料から浮
き彫りになったといえま
す。(なお、米軍資料は
1月10日付で同じものが
更新されています)

他方、米軍資料は、横
田基地から韓国・烏山空

月24日の林芳正外相の記

手納・岩国両基地への移

更新されています)